

塩野直道賞

高等学校の部

重回帰分析による熱中症の危険予測と部活動の在り方

奈良県 奈良女子大学附属中等教育学校 4年 北村 優季

講評

熱中症の危険予測について、気象要因（不快指数、天気度数（作者が定義））を説明変数とする重回帰分析を用いてうまくモデル化しています。実用上も有用な分析と考えられ、また、レポートもうまくまとまっています。その昔、超有名数学学者ガウスが作った最小二乗法は、二百年後の現代においても生き続けています。

中央審査委員会